

平成 26 年度 第 7 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 26 年 11 月 25 日 (火) 18:00~20:00
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 井上、末岡、竹島、谷口、丸井
- 欠席者 : 伊丹、田中靖、田中晃、鎌田、進藤、豊高、山田、
- 議 長 : 末岡 ■議事録作成 : 事務局
- 配布資料 : ・平成 26 年度 第 4 回公共交通部会議事録
 ・平成 26 年度 第 7 回環境教育サポート部会議事録

1. 報告事項

(1) 事務局報告

①監事について

来年度から、税理士の中塚さんが監事を引き受けて下さることになりました。

②地球温暖化対策ミーティング報告

現在、節電コンテストの表彰者の審査中である。期間削減賞 5 名、各月間ベスト削減賞 5 位まで (但し、重複者は除くため、計 5 名)、アラカルト賞 5 名、の計 15 名を表彰する予定である。

(2) 部会報告

①公共交通部会

現在、春のスタンプラリーのチラシを作成中である。今回は、スタンプポイントとなる桜の名所を交通タウンマップにプロットしたようなものを考えている。

絵本の方も順調に集まっている。

交通タウンマップは、今後も年 2 回の発行を続けていく。

②教育サポート部会

- ・新規会員の村島さんが出席された。
- ・情報コーナーの管理については、部会活動を越えているため、難しいという意見が多かった。
- ・HPのS-EMSの内容を変更する。また、HPに+E S Dのリンクを貼った。
- ・NPOわかやま環境ネットワークの取組みである環境学習会が、和歌山県ふるさと雇用再生特別基金から事業費が出ている。枚方でもこういうことができるか。

(主な質問・意見)

- ・E S Dでは、様々な分野を網羅しており、何をやってもそれにつながるような傾向があり、どちらかと言えば、経済・社会面が強い。環境ネットワークでは、もっとシンプルに環境教育に特化した取組みを行う方がいいのではないか。
→E S Dの取組みにも賛同しているということを表明しておく程度とすることでいいと考えている。
- ・和歌山の件については、申請書類や企画書で、どういったことで基金の予算が下りたのかを検討していただき、そのことを踏まえ、環境ネットワークでは、どのような企画が可能かといったところまで提案していただきたい。

③まちづくり部会

- ・先月のウォーキングイベント後のアンケートでは、「今後も続けてほしい」が約 6 割という結果

であった。今回はリピーターが10名であったが、今後はリピーターをもっと増やしていきたい。

- ・10月14日に行われた、枚方市の景観法制定10周年記念「近畿景観シンポジウム」にまちづくり部会から3名が出席した。パネラーとして出席されていた京都市長の「京都市が『「世界の住みたい都市No.1」に選ばれた」という話が印象的であった。枚方市のまちづくりについて、考えていく、よい機会となった。
- ・11月11日に部会メンバーで、枚方市のまちづくり、主に宿場町についての勉強会を行った。今後は、部会以外の方にも参加してもらって続けていく予定である。来月は、11日に岡本町会館で「北村みそ」の若当主を講師に招き、五六市の活性化を含め、話し合う予定である。

(主な質問・意見)

- ・勉強会は、どういう位置づけで行われるのか。外部の方を入れる必要があるのか。
→昔どういう状況であったかを知っておかないと、そのまちの匂いというか、どこに風情があり、どれを残すべきなのかがわからないので、まずそれを勉強する。ひらかたの物語をどうつなげていくかということである。また、まち並みを残すためには、いくつかの歴史的史跡を残す必要もある。同時に、宿場街道の活性化も課題となる。現在の宿場街道は、五六市の日だけが活性化している状況である。他の日も、もっと活性化しなければ、街道沿いの商店などの存続が厳しくなり、まちなみ保存も難しくなるということである。外部の方というのは、主に五六市の関係メンバーである。

2. 協議事項

(1) エコフォーラムについて

- ・校区コミュニティ代表者会議で、自治会の事例報告を行う予定であったが、書類や手続きが間に合わなかった。今後、五六市などで宣伝する。
- ・28年度から、ネットワーク会議単独でエコフォーラムを行う方向で考えている。今年度のエコフォーラムが終了したら、すぐに検討を始める。

(2) 新規事業について

補助金等の関係で、毎年、新規事業を行う必要があるため、次年度の新規事業について、何か考えなければいけない。また、わずかでも収入になる事業を手掛けていく必要もある。何かアイデアがあれば、出してほしい。

(主な質問・意見)

- ・スタンプラリーもそうだが、環境活動では、同じ事を行いつづけることに大きな意味がある。交通タウンマップは、対象者が変わるため、内容が同じであっても継続の意味がある。そういう変化する対象に何かを提供するような事業があればいいのではないか。
- ・今年度、環境講座に多くの参加者が来られた。環境講座で小額でも徴収すれば、多少の事業収入となるのではないか。
- ・先日、ソロプチミストの記念講演会のチラシをネットワーク会議で請け負った。また、レンタサイクルの前カゴにつけるプレートも作成した。そういうように中間支援組織として、他団体支援のような形での事業も行っていけるのではないか。

(結論) この件については、引続き検討を行う。

次回運営委員会 12月の運営委員会は、19日か22日、1月は16日か19日で欠席者の都合を聞いて決定する。1月は会議の時間を早くし、その後、新年会を行う。